

特集 修学旅行



「いちゃりばちよーでー」  
一度出会ったら皆兄弟



Okinawa

修学旅行で学んだこと

二年六組 野田永佳

私達巨摩高生は、四日間の修学旅行で様々な観光地を訪れました。その中で私が一番心を打たれたのは「糸数塚」という、戦争中に負傷した兵士やひめゆり学徒隊、そして市民が生活していた自然洞窟です。私は沖縄に行く前から、その中に入ることを拒んでいました。しかし、全貌を見てリアルな話を聞いてみて、入ってよかったと感じています。小学校や中学校では、話を聞いたり、資料を見たりして戦争について学んできました。今回は実際に現場に足を踏み入れることで、全身で戦争というものを感じることができたと思います。現代を生きる私達が、平和についても一度考え直すための、とても貴重な体験でした。

KOUCHOU SENSEI  
kara  
HITOKOTO

巨摩スタイル!

校長 高保裕樹



「光陰矢のごとし」と言うが、今年度もあつという間に終わろうとしている。さて、巨摩高校の一年を振り返ると、全日制では、県総体の学校対抗で男子総合八位、女子総合五位と大健闘し、特に弓道部、ホッケー部、陸上部、生物・地学部は全国レベルの実績を残すことができた。定時制でも、県総体の陸上競技女子総合で二連覇、バトミントンの女子団体四連覇、男子の個人優勝を果たし、生活体験文発表では六年ぶりの最優秀賞を受賞するなど、輝かしい成績を収めた。もちろん、学習面においても良く努力し、順調な成果を上げてきている。これらの結果に満足せず、さらに生徒を支援していくためには何が必要かを学校では常に考えている。その一環として、現在は「巨摩スタイル」を掲げ、学校全体で実践している。「巨摩スタイル」とは、生徒が積極的、主体的に授業に参加し、「学ぶ楽しさ」を実感できる授業スタイルのことを指す。これは、「教わる」ことから「学ぶ」こ

Yes!!  
This is the style of  
Koma high school.



とへの転換でもある。「巨摩スタイル」を通して培われた主体性は、何事においても、生徒がより高いステータスで自己実現を果たし、最終的には「巨摩を選んで良かった」と実感するのに大きな力となるだろう。決意を胸に横を見ると、実体化したゆるキャラ「こまねきねこ」が、素敵な笑顔で本校を応援してくれていた。

巨摩高にゆーず

We did it !!

女子弓道部  
全国高等学校弓道選抜大会  
第3位!!



躍進を続ける本校女子弓道部は、12月24日(木)から26日(土)に、栃木県宇都宮市ブレックスアリーナ宇都宮で行われた第34回全国高等学校弓道選抜大会に山梨県代表として参加し、見事、団体第3位に入賞しました。

【代表選手】  
芦澤伽奈美 藤森南咲 西村ほのか 鶴見紋己

二年五組 芦澤伽奈美

全国大会に出場できるという喜びと同時に、県代表という大きなプレッシャーがありました。予選を通過するためには五十一チーム中十六チームに残るしかありません。厳しい試合でしたが何とか予選を通過し、次の日の決勝トーナメントに進めました。勝っても負けても後悔のない試合をしようという心を決めて臨み、全国三位が決定しました。この結果が残せたのは、御指導してくださった先生方、応援してくれた家族や仲間がいたからです。これから感謝の気持ちを忘れず、もつと上を目指して努力していきます。

Amazing

生物地学部『日本学生科学賞』で  
全国入選 2等を受賞!!

特集 SSH  
スーパーサイエンス  
ハイスクール

12月24日(木)、日本科学未来館(お台場)で行われた第59回日本学生科学賞中央表彰式において、本校生物地学部の研究『山梨県内のゲンジボタルの分子系統学的解析(その1)~新たな種内集団(南アルプス集団)の提唱~』が、全国入選2等を受賞しました。この『日本学生科学賞』は、国内で最も伝統と権威のある科学コンクールであり、式典には秋篠宮両殿下もご出席されました。また、同研究は山梨県芸術文化祭賞も受賞し、来年度広島県で開催される全国総合文化祭に出場します。

【研究者】 塩島広大 高石健斗 中込琳 深澤亜生 藤原孝一 荻野翔



二年六組 塩島広大

先輩から継承してきた地元のゲンジボタルの活動・研究が認められたことを嬉しく思います。同時に、この研究に関わっていた地元の元や市、また生物地学部の仲間や先生、OBや山梨大学の大学院生の方々への感謝の気持ちでいっぱいです。今後も探究心と地元を愛する気持ちを忘れず、地元の貴重なゲンジボタルを保護していきたいです。

地域の小中学生と  
共に取り組む

わくわくサイエンス in 巨摩高

平成24年度から始まった「わくわくサイエンスin巨摩高」は今年で4年目になります。今年も地域の小中学生が61名、保護者の方が43名参加していただきました。事後アンケートでは「また参加したいですか」という質問に対して小中学生の94%、保護者の方の100%が「そう思う」と回答して下さいました。

どの実験も、とても楽しかった

あつという間に時間が  
過ぎてしまうくらい  
夢中になってやっていた

たくさん実験に  
参加できて良かった

どれも楽しい発想で、  
身近な道具で  
できるところが良かった

色々な科学の実験が  
できて勉強になった

「できた!」とか  
「飛んだ!」とか  
子供達が楽しそうだった



チームでも、個人でも!  
巨摩高生 大活躍の足跡!!

各部の大会結果報告(10月下旬~1月末)



視聴覚委員会 / 飯田くん



ホッケー部

山梨県高等学校芸術文化祭

- 生物地学部  
生物部門:芸術文化祭賞、科学アカデミー賞  
来年度 全国高等学校総合文化祭広島大会出場  
『山梨県内のゲンジボタルの分子系統学的解析(その1)』  
塩島広大 高石健斗
- 物理科学部  
ポスター部門:理科部特別賞  
『南アルプス市の果樹剪定枝の有効活用について』  
入倉桃子 岸田和奈佳 清水杏菜 塩澤愛華
- 視聴覚委員会  
放送部門 朗読の部:奨励賞 飯田敦也
- 箏曲部  
日本音楽部門:優秀賞



写真部 / 伊藤さん

山梨県新人大会

- ホッケー部: 優勝 関東大会出場:団体3位入賞
- 弓道部(女子): 優勝 全国大会出場:団体3位入賞

高体連テニス専門部教育大会 ブリジストンカップ

- 女子テニス部: 団体3位

関東地区高校放送コンクール

- 視聴覚委員会: 朗読部門出場 飯田敦也

関東地区高等学校写真展

- 写真部: 奨励賞 伊藤楓

関東高等学校選抜ホッケー大会

- ホッケー部: 3位